

一般会計

歳入総額 284億2409万円

歳出総額 277億2044万円

市の会計のうち、基礎的な経理を中心とした会計です。

平成29年度の予算は主に次のように使われました。主なもののため、合計は一致しません。(万円未満切り捨て)

平成29年度決算を認定

市長は、翌年度予算を決める3月の定例会までに、前年度の決算について議会の認定を受けなければなりません。

9月10日から13日までの4日間にわたり、予算決算において決算内容を審査し、本会議最終日に全ての決算を認定しました。

(質疑は予算決算委員会でのもの)



総務費

32億5231万円

まち・ひと・しごと創生推進事業
(定住・移住促進奨励金など)
7507万円

- 問** 公共施設適正化は、100人会議などで、いろいろな市民の声を聞いて進めていくべきではないか。
- 答** 行政改革推進研究会や地域コミュニティ協議会などから意見や助言をもらっている。今後も可能な限り市民の声を聞きながら進めていきたい。
- 問** 東京事務所の成果は。
- 答** 観光・物産展の支援や各東京事務所と連携した活動を行うことで、田原市や市の特産品の首都圏での認知度向上につながった。
- 問** 外国人住民アンケート調査でわかったことは。
- 答** 日本語教室に通えない理由で最も多かったのは、近くに教室がないからというものだった。



衛生費

24億6822万円

地域医療確保対策事業
(赤羽根診療所整備など)
1億34万円

- 問** 医師確保修学資金等貸与を受け、医師となった後、市内渥美病院に勤務せず、修学資金を返還した人はいるのか。
- 答** 今のところはいない。
- 問** 病診連携室の利用内容は。
- 答** 診療連携室から渥美病院への紹介、病院から診療所への紹介と、診療所から病院への検査委託。
- 問** 渥美病院と診療所との連携がもたらす影響は。
- 答** 診療所では、高度医療機器を自己保有しなくても病院の機器を利用できる。患者の方は引き続き地元の診療所で受診できる。
- 問** 斎場建設地地質調査の結果は。
- 答** 建設予定地内の7か所で試験を行い、良好な支持層であるという結果を得た。



農林水産業費

18億8562万円

農業経営活性化事業
(産地パワーアップ事業補助金など)
2億3742万円

- 問** 耕作放棄地はどれくらいあるのか。
- 答** 平成29年度は449ヘクタール、うち農用地は287ヘクタール。
- 問** 遊休農地をつくらないため、また、解消するための取り組みは。
- 答** 農業委員や農地利用最適化推進委員が遊休農地になる前の農地の掘り起こしをしている。農地を農業の担い手にあっせんする農地バンク事業や国の耕作放棄地対策交付金事業などを活用している。
- 問** 海外販路拡大事業の内容は。
- 答** シンガポールの店舗では7月から8月にかけて、メロン、ミカン、大葉、2月にバラ、スイートピー、グロリオサを、マレーシアの店舗では、豊橋市、浜松市、飯田市と連携し、9月に大葉、11月にミニトマト、セロリの販売促進活動を実施した。